

青葉の森公園芸術文化ホール指定管理者管理運営状況評価

1 概要

(1) 施設名等

施設名	青葉の森公園芸術文化ホール
指定管理者	公益財団法人千葉県文化振興財団
指定管理期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで（5年間）
評価対象年度	令和5年度
第三者評価の有無（今回）	無
施設所管課	環境生活部スポーツ・文化局文化振興課

(2) 施設の設置目的等

設置目的	伝統芸能の保存継承及び県民参加による優れた文化芸術の創造・発表・鑑賞等の拡充を図る。
指定管理者が行う業務の範囲	① 文化活動のための施設の提供 ② 集会のための会場の提供 ③ 県民の文化芸術の振興を図るための事業の企画及び実施 ④ その他文化会館の設置の目的を達成するための業務

(3) 施設の運営状況

年度	利用者(人) ※1	事業費等の内訳（千円）				(参考) 利用料金
		指定管理料 (A)	その他維持 管理費(B)※2	使用料等 県収入(C)	県の収支 (C-A-B)	
令和5	102,874	127,642	11,168	20	△138,790	30,451
(参考) 令和4	63,407	122,485	14,371	19	△136,837	24,865

※1 カウント数：施設全体（ホール、練習室、会議室、大展示室、小展示室）の利用者数

※2 維持補修費、委託料、工事請負費、備品購入費（指定管理料に含まれているものを除く）

2 評価結果

(1) 管理運営状況評価

評価項目	評価	評価理由等
管理業務の実施状況に関する事項	A	千葉県立文化会館の設置及び管理に関する条例をはじめとする関係法令を遵守した管理運営を行った。個人情報及びデータは適正に管理されていた。県への定期的な報告、日常の相談や連絡等も適切に行われた。
	S	舞台・照明・音響設備については、事前の動作確認を行い、事故防止の徹底を図った。舞台及び設備スタッフが高所作業にあたる際には、労働安全衛生法の基準に則った、新規格のフルハーネス型安全帯とヘルメットを着用し、安全第一での作業を徹底し

			た。また、能舞台の組立において、可搬式の作業台を導入するなど、作業時における安全対策を図った。総合防災訓練は、災害時の情報提供や避難者カードの作成など、実践的な内容により年2回実施し、来館者の安全確保に努めた。
	適切な管理運営	A	警備、清掃等は催し物の状況に応じて適切に実施されており、主催者に対しては、イベント運営や舞台全般に対するきめ細かい助言を行った。職員がサービス介助士の資格を有し、来所者の問い合わせや要望に迅速に対応するなど、あらゆる人が利用しやすい環境整備に努めた。
	適切な財産管理	A	舞台・照明・音響設備については、職員による日常点検と専門業者による定期点検を計画的に行い、適切な維持管理を行った。施設内の不具合を発見した際は、県に速やかに報告するとともに、場合に応じて職員で対応するなど、適切に対処した。
事業の企画運営に関する事項	事業の実施 (必須事業)	S	令和5年度は、当初計画していた37事業に1事業を追加した、計38事業を予定し、予定した事業を全て実施することができた。能舞台を有する施設としての特色を活かし、能舞台WEEK!では、宝生流の宗家の出演による「青葉能」を千葉県誕生150周年記念事業として実施し、県民に質の高い伝統文化に触れる機会を提供するとともに、能楽に関する体験会、ギャラリー展示など、様々な事業を実施した。また、公園内にあるというホールの特性を活かし、0歳から楽しめるファミリー向けの公演として「夏休み子どもシアター ベイビーシアター『KUUKI』」や「邦楽四重奏団 in 青葉」を実施するなど、子どもを含めたあらゆる人々が文化芸術に触れ親しむ機会を提供した。
	サービスの向上 自主事業 地域の連携等	A	誰もが利用しやすい環境を整備し、利用者からの要望に迅速に対応するなど、サービスの向上に努めた。また、県立文化会館4館の指定管理者となったことを活かし、4館の主催事業の情報が一元化されたイベントカレンダーの作成や文化情報誌の発行、公演チケットの4館取り扱いを行うなど、利便性向上を図った。公園内や近隣の施設等と連携した文化事業を企画したほか、県内大学への講師派遣、福祉施設へのアウトリーチ事業を行うなど、地域との連携に取り組んだ。
施設利用状況に関する事項		A	利用人数については、感染症影響前の平成30年度との比較では減少したが、ホールの利用率、利用回数及び利用料収入については増加している。昨年度との比較では、ホームページ等による広報など、積極的に施設の利用促進に取り組んだ結果、ホール利用率は88.2%（前年度64.6%）と増加した。また、利用料収入も事業計画を上回った。
管理運営体制		A	施設を管理運営するために必要な組織、人員配置を整え、適切に運営した。危機管理対策や事業企画、アートマネジメントなど、様々な研修機会を設け、職員の能力向上に努めた。
収支状況		A	光熱費高騰による影響を受ける中、利用料金収入の増や新たな助成金獲得、経費の縮減などに取り組み、黒字となった。

利用者意見の反映 利用者満足度	A	フロアーにアンケートボックスを設置し、利用者、来場者からの意見に対して、迅速に対応した。施設全体の満足度では、「大変満足」と「やや満足」で98.1%を占めており、高い満足度を得ている。
総合評価	良好	各項目の合計点数 22点/30点(77%) 各項目の評価点数の平均点 2.2点

(2) 特記事項

特に評価される点	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安全に安心して利用できる環境を整え、利用者の目線に立った質の高いサービスを提供した。 ・文化芸術振興事業については、本格的な能舞台を有する施設の特徴を活かし、能舞台を活用した多彩な事業を実施し、県民に質の高い伝統文化に触れる機会を提供するなど、伝統芸能の保存継承に取り組んだ。また、公園内にある施設の立地を活かし、子どもから大人まで幅広い世代が気軽に参加・体験できる事業を企画するなど、子どもを含めたあらゆる人々が文化芸術に触れ親しむ機会を提供した。
次年度に向けて改善が望まれる点	特になし。
前年度評価で改善が望まれると指摘された点とその改善状況	該当なし。

(3) 第三者評価におけるその他の意見その他

第三者評価は実施していない。